

これまでとこれから

2024. 5. 14

過去というものと未来というものがある。あなたのこれまでが、あなたのこれからを決める、という人がいる。確かに、そう思えないこともない。だが、そうではないような気がする。あなたのこれからが、あなたのこれまでを決めるのではなからうか。

幼稚園に来てからわかったこと、気づいたことがある。その一つに、小学校と中学校のことが見えるようになったということがある。この感覚は、イタリアにいたときに、日本のことが見えてきたことと似ている。

小学校でも、中学校でも、その中にいると見えないことがよくある。少し離れて見ると、急に見えるようになる。そのため、できる限り、学校のことも自分のことでも、客観視するよう努めてきた。いわゆる自己の客観視である。

ここ数年間、今年の3月までは、過去の失敗やうまくいかなかったことを振り返ることが多かった。今までは、全速力とは言わないが、前しか見てこなかった。ところが、走るスピードが鈍ってきたのか、余計なことを考えるようになってきた。

この症状が、4月に入ると霧散した。再び、前を向き走り出したためであろう。人生は、すべて出会いによって決まる。「偶然という幸運の女神は、準備された心にのみ降り立つ」という言葉がある。免疫学の権威であるレイ・パスツールのものである。その出会いがよかったかどうかは、そのときにはわからないものである。だから、それぞれの出会いは大切にしていかなければならない。出会いには、偶然はない。必ず何らかの意味がある。

こう思って、今の仕事をしている。職場の先生方のお世話になっている。もし、自分のこれからは、自分のこれまでを、より一層輝かせてくれるとしたらどうであろう。もちろん、過去には戻れない。過去を変えることはできない。だが、これから次第で、これまでが変わるとしたら、今が一段と大切に思えてくる。歳を重ねるごとに、未来という言葉に反応しなくなっていた。もしかしたら、今の年齢だからこそ、未来というものが大事なかもしれない。

自分にとっての今である幼稚園のおかげで、自分にとっての過去である小学校、中学校、そして高等学校の存在価値が変わってきた。これは収穫である。自分の教員人生を全面的に肯定することは、これからはないだろう。それでも、少しは気が楽になった気がする。これまでのためにも、これからを力強く生きようと思う。